

産官民とも単元調査法へ

東京豊洲新市場の汚染の調査・浄化は2000年頃に開始されましたが、調査が土壌汚染対策法施行規則による画一的な試料採取（無単元調査法）によって行われたがために、汚染物質を透しやすい砂礫層や透し難い泥層といった地層単元を破壊し、浄化不可能な状態にしたようです。結果的に、期限までに無害化は不可能として小池知事が謝罪しました。しかし、その後に専門家会議から安全性の確認を受け7月31日に知事によって豊洲市場開場の認可申請され、築地市場から新市場へ移転することになりました。とは言っても豊洲新市場地下には汚染物質は存在しています。

移転までには無害化が不可能であると行政の長である知事が謝罪したことは、環境に対する真摯な態度とも理解できます。しかし、浄化終了の時期も浄化の程度も表明できず知事が謝罪した理由のひとつとして、NPO法人日本地質汚染審査機構が提唱してきた単元調査法ではなく、合法的とは言っても土壌汚染対策法施行規則による無単元調査法で調査し、浄化が行われてきたことを挙げるができます。

愛国心とは、みらいのこどもたちのために国土を綺麗な地質環境に修復することです。しかし、皮肉なことに法の施行規則による調査法が愛国心を裏切る技術であることを豊洲新市場の汚染浄化の混迷で実証されました。本当に悲しいことです。

本審査機構では、長年にわたり美しい国土の修復をめざして地質汚染の調査・浄化ができる地質汚染診断士を世に送ってきています。さらに、本審査機構では美しい愛すべき国土を作るために産官民の各組織に単元調査のできる地質汚染診断士が一人でも多くなるように努力しております。

地質汚染診断士の資格を得るには、下記の有害揮発性有機化合物の研修会と春の「重金属類・残土石処分地・廃棄物処分地診断に関わる地質汚染調査浄化技術研修会」とを受講され、診断士試験に合格していただくことが条件となっています。

産官民の方々ともどもその資格を得て美しい国土の修復に尽力していただきたくお願い申し上げます。

平成30年10月10日

内閣府認証NPO法人日本地質汚染審査機構理事長

楡井 久

第29回 地質汚染調査浄化技術研修会

— VOCs を中心とした地質汚染・調査対策単元調査法（汚染調査のプロを目指すために） —

日 時：2018年11月16日(金)～18日(日)

主 催：NPO 法人 日本地質汚染審査機構

共 催：地質汚染診断士の会・日本地質学会環境地質部会・社会地質学会・古関東深海盆ジオパーク推進協議会

会 場：日本地質汚染審査機構 関東ベースン実習センター（香取市）(Tel：0478-59-1491)

〒287-0025 千葉県香取市本矢作 1277-1

会 費：本 NPO 会員：45,000 円・非会員：55,000 円・学生：15,000 円

全日程参加できない方は1コマから参加できます（ただし各種診断士受験権利はつきません）。

本 NPO 会員：(4,000 円/1 講座、) 8,000 円/半日、16,000 円/1 日にて受講可能です（要問合せ）。

非会員：(5,000 円/1 講座、) 10,000 円/半日、20,000 円/1 日にて受講可能です（要問合せ）。

※上記会費のうち、全日会費には昼食代を含みます。懇親会費（自由参加）は含みません。宿泊は各自で確保してください。

※キャンセル料：11月9日まで参加費全額返却、11月12日まで半額返却（支払手数料は参加者負担）。

定 員：15 名（定員になり次第締め切ります）

申 込・問合せ先：NPO 法人日本地質汚染審査機構

Tel：043-213-8507／Fax：043-213-8508／E-mail：office@npo-geopol.or.jp

※受講希望者は、氏名・所属・連絡先（電話、Fax、Eメール）、性別、年齢についてお知らせ下さい。

振込先：みずほ銀行平井支店（普通 2046996 日本地質汚染審査機構）

申込締め切り：11月4日

★カリキュラムについて（講師の都合で変更することがあります。最終決定次第 H.P.にてお知らせします）

プログラム（予定、講師の都合で変更になる場合があります）（肩書きの無い講師は、地質汚染診断士）

11月16日（金） 会場：関東ベースン実習センター

JR 成田駅西口 9:30 発（関東ベースン実習センター行きの車を用意します。）

10:30～10:35 開会式・・・田村嘉之（NPO 法人日本地質汚染審査機構 地質汚染診断士の会 会長）

10:35～10:45 開会にあたっての挨拶・・・榎井 久（NPO 法人日本地質汚染審査機構理事長

・国会超党派水循環基本法フォローアップ委員会委員）

【室内講義】

1. 10:45～11:30 だれにでも解る地質層序学とそして侵してならない地質層序学・・・榎井 久

2. 11:30～12:00 VOCs・油類・放射性物質地質汚染（特に、宅地の地下空気汚染の危険性）の正しい単元調査法から

浄化対策まで－地質汚染科学の基礎理論－・・・榎井 久

12:00~13:00 【昼食】

3. 13:00~14:00 VOCs・油類・放射性物質地質汚染（特に、宅地の地下空気汚染の危険性）の正しい単元調査法から
浄化対策まで－地質汚染科学の基礎理論－（午前の続き）・・・・・・・・・楡井 久

14:00~14:10【休憩】コーヒースタンド

4. 14:10~16:10 土壌汚染対策法の改正－調査・分析法の動向と課題
・・・・・・・・・佐々木裕子（NPO 法人日本地質汚染審査機構理事・薬学博士
・国立研究開発法人国立環境研究所客員研究員）

5. 16:10~17:30 無単元調査法でおきた大規模地質汚染発生現場からの教訓および有機溶剤の回収量計算
・・・・・・・・・渋谷英世（NPO 法人日本地質汚染審査機構監事・元 AGC 株式会社）

6. 17:30~18:30 観測井・揚水井の設置・孔内洗浄とエアリフト・電気検層・・・・・・・・・成澤 昇

18:30~20:30 懇親会（バーベキュー）（会場：関東ベースン実習センター）

11月17日（土） 会場：関東ベースン実習センター

JR 成田駅西口 8:20 発（関東ベースン実習センター行きの車を用意します。）

【屋外実習】

1. 09:00~12:00 検知管・GC/PID（捕集バック法でサンプリング午後分析）等による VOCs 地上表層地下空気汚染調査
実習（VOCs および可燃性天然ガスにおける表層ガス測定）（雨天時は内容の変更あり）
・・・・・・・・・檜山知代・高島英世・成澤 昇・布施太郎

12:00~13:00 【昼食】

【室内講義】

2. 13:00~14:00 地下空気汚染調査のとりまとめ方・・・・・・・・・高島英世
3. 14:00~15:00 GC/PID による有機塩素化合物の現場分析の注意点・・・・・・・・・檜山知代・高島英世

15:00~15:10 【休憩】コーヒースタンド

【室内実習】

4. 15:10~16:00 VOCs 地層汚染単元調査法のためのボーリングコア試料現場簡易分析（1本の検知値の有効性）
・・・・・・・・・高島英世・檜山知代

【室内講義】

5. 16:00~16:30 コアから分析検体の作成と公定法分析・・・・・・・・・布施太郎

16:30~16:40 【休憩】コーヒースタンド

6. 16:40~17:40 開設準備中 東アジア地質植物園 散策
-

11月18日（日） 会場：関東ベースン実習センター

JR 成田駅西口 8:20 発（関東ベースン実習センター行きの車を用意します。）

【室内講義】

1. 09:00～ 10:30 単元調査法のためのボーリングコアの記載説明・・・・・・・・風岡 修

【室内実習】

2. 10:30～12:00 ボーリングコア試料による層相と堆積構造の記載
・・・・・・・・風岡 修・宇澤政晃・小原崇嗣（午後に継続）

12:00～13:00【昼食】

3. 13:00～14:00・・・・・・・・記載訓練継続
4. 14:00～15:10 単元調査法のためのボーリングコアの記載説明（まとめ）・・・・・・・・風岡 修

【室内講義】

5. 15:10～15:40 VOCs による地質汚染機構解明から汚染対策事例・・・・・・・・高嶋 洋
6. 15:40～15:50 地質汚染診断士受験の勧め・・・・・・・・田村嘉之

15:50～16:15 研修終了証書授与式・・・・・・・・楡井 久（NPO 法人日本地質汚染審査機構理事長）

16:15 閉会式・・・・・・・・檜山知代

研修会協力機関：AGC(株)千葉工場・関東天然瓦斯株式会社エンジニアリング事業部・浅野さく泉管工（株）

（株）医療地質研究所(MGRI)・（株）環境地質研究所・（一財）千葉県環境財団・古関東深海盆ジオパーク推進協議会